

平成22年度

地域人材育成ダイヤモンドプラン事業 ふるさと只見・人材育成講座

最終講座 「松下政経塾研修」を終えて……

今年度からスタートした、町教育委員会重点事業「ふるさと只見・人材育成講座（1期2年の講座）」も一年目が修了し第一期生の皆さんは折り返し地点を迎えました。「第六次産業を興す起業家の育成」として受講されている11名の皆さんは、カリキュラムに基づいた講座（研修）を受け知識を習得、それぞれの目標に向かって確実に歩んでおられます。

第一期生11名のうち7名の皆さんは、一年目の最後となる講座として、2月5日に神奈川県茅ヶ崎市の松下政経塾で「松下政経塾紹介プログラム」を研修されました。

今回の研修を受講され一年目のカリキュラムを終えられた皆さん、7名のご感想や二年目に向けての意気込みなどを伺いましたので紹介いたします。
(9ページに掲載)



▲松下政経塾を訪れた第1期生の皆さん

「松下政経塾」って…？

松下幸之助氏が私財を投じて1980年に創立。

- ▶ 自ら問題を提起し、自分で答えを出すという「自修自得」の精神を持って学ぶ場所。
- ▶ 31年間で卒業生240名余り。政治分野、経済分野、教育研究、マスコミ分野などで活躍する人材が育っている。

「松下政経塾紹介プログラム」って…？

- ▶ 「建塾の理念」のVTR鑑賞や松下政経塾の概要説明など
- ▶ 塾生発表と質疑応答
- ▶ 研修塾の塾頭、副塾頭の講話と質疑応答
- ▶ 塾内見学

などを行うプログラムです。

第二期生 二年目のカリキュラム (予定)

- ▽ 4月19日(火)
「ビジネスプランの計画」①
合同会社
阿部マネジメントオフィス
- ▽ 5月20日(金)
「地産地消の推進」
NPO素材広場
- ▽ 6月23日(木)
「農家レストランの
取り組み(視察研修)」
巻町角田山自然館(新潟県)
- ▽ 7月1日(金)
「ビジネスプランの計画」②
合同会社
阿部マネジメントオフィス
- ▽ 7月26日(火)
「特産品の生産・
加工・販売について」
南会津食のルネッサンス
- ▽ 10月4日(火)
「只見米の付加価値の創造
(視察研修・会津若松市内)」
- ▽ 10月14日(金)
「ビジネスプランの計画」③
合同会社
阿部マネジメントオフィス
- ▽ 12月9日(金)
「ビジネスプランの計画」④
合同会社
阿部マネジメントオフィス
- ▽ 2月28日(火)
閉講式「ビジネスプラン発表」

佐藤 弘さん (叶津)

ポケットマネーで作った松下政経塾は想像以上に凄いものだ、感心して拝見して参りました。

「塾是」「塾訓」「五誓」といろいろな話を聞き感動いたしました。

研修のやり方も「自修自得」「切磋琢磨」「現地現場」等々。

いろいろ研修プログラムが組み、私のような凡人では「手が届かないな～」と感心したり、驚いたりしましたがとても実りのある研修でした。

茶室に直筆の「素直」という文字の掛け軸が、自分自身に当てはめてみると反省仕切りでした。

人も政治も作るものだとは昔より理解していましたが、ここで再度確認してきました。

目黒 道人さん (楢戸)

これといったカリキュラムは特に無く、自分でテーマを設定して研究する3年間。

全ての時間を研究に没頭することができる環境を与えられます。

あとは自分を律してテーマ研究を続けられるかどうか。逆に言えばそれほどの思いと信念が無ければ入塾は認められないのでしょうか。

松下翁曰く「運と愛嬌」。

この言葉を胸に私も人材育成講座の一員として、経営者の一人として、世の中に多くの機会を創出できるよう自修自得に励みたいと思います。

山内 幸三さん (布沢)

夢を背負って生きて行く（心地良いプレッシャーを感じながら）

町教委が主催する人材育成ダイヤモンドプランに参加させていただき、普段の環境では知り得ることの出来ない多くのことを学ばせていただいております。

この講座に参加させていただくにあたり、自分なりにテーマを持ち、学びの必要を感じながらも何かいま一つ充足感を味わえずにありました。

今般の視察研修に参加したことでこの部分の曇りが少しではありますが晴れた感が致します。

吉津 健さん (黒谷)

松下政経塾設立の趣意について、昭和54年に松下氏が作成された内容の趣意書があったが、30年が経過した今の世の中とほぼ変わらないことに驚きを感じた。

研修スタイルにおいては、常勤講師を置かず塾生自らの自修自得を重んじた方針は塾生のやる気と成長に繋がるものと感じた。

今回の研修に参加し人材育成について気付いたことは、自分の思い（志）を持ち、それに向かい悩み研究を重ねながら進むこと。そのためには素直な心や高い志、元気（忍耐）が重要であり、常にその想いを忘れずに発展していく人材を育成していくことが本当の人材育成だと思う。そんな人材を目指し残りの研修を頑張りたいと思う。

星 美弥子さん (小林)

松下幸之助氏の理念の『素直な心』『志』『元気な人』『実践力』。中でも『素直な心』は、第1に私心がないこと、第2に謙虚に耳を傾けること、第3に全ての人を師にしていけること、第4に寛容な心を持つこと、人間全てに言えることと肝に命じました。

塾頭から松下氏の「松下政経塾は、人間を磨き、志を磨く道場です。」という教えに触れることができ感動いたしました。

副塾頭から「理想の政治家はまだ出ていない」との言葉に、理想と現実の差を感じました。

30年前に語られた松下氏の言葉が今の時代にぴったりとしている。政治という前に、とにかく人間教育、人材育成の難しさである。「素直な心」を肝に命じ、みんなで頑張っていきたいと思う。

目黒 孝幸さん (只見)

今回の研修に参加して私が非常に感銘を受けた言葉、それが「自修自得」である。

自ら問題提起し、自ら研究し、自ら答えを導くという意味では、松下政経塾の塾訓に登場するもので、いわば松下政経塾の根幹であると感じた。

3年間という限られた時間の中で、それらを成し遂げることができる塾生の熱意にはただただ頭が下がる思いがした。人材育成事業だけでなく、普段の仕事にも精神的な部分で活かすことができる部分が多くあり有意義な内容であった。

また、次年度以降のプログラムについて、1期生11名が一つのチームとなり課題解決のための知恵を出し合い、そこからビジネスプランを作成することのほうが良いのではないか。自らが課題解決の方策を考える、そういった意識を常に持ち続けていきたい。

山内 翔さん (二軒在家)

常勤の講師がいない、というのには驚いた。「自分で研究テーマを見つける」そこから全てが始まるというのは、妙に納得がいくし、説得力もあった。自らこの国の、社会の、経済の課題を研究テーマにし、世の中のために勉強し、還元する、活躍する。まさに、塾を卒業された方々を見ればそれがわかる。

私は、「本気」ではないかもしれない。しかし、35歳までに本気になれば、松下政経塾に学びに行きたいと思う。

これからの人材育成

第一期生の皆さんには、この一年間に研修されたことを基礎に、二年目も自己の目標に向かってカリキュラムに取り組んでいただきます。

さらに、今後は平成23年度から新たにスタートする、二期生「産業を興す人材育成」そして、三期生「集落を支援してくれる人材育成」それぞれの受講生を募集していきます。これからも、地域の発展には不可欠なリーダー的人材を育成していくことを目的に充実した講座を計画していきますので、よろしくお願いいたします。